

多機能型事業所

「やわた作業所」 施設見学

6月4日(火) PTA 本部役員6名で、八幡市内にある「やわた作業所」さんの施設見学に行き、施設長の田中様に案内をしていただきました。「やわた作業所」さんは、支援の基本は発達保障「誰もが伸び行く発達主体である」ととらえ、支援者も利用者さんもお互いの存在を認め合い、ともに生きる喜びを追求していくことを大切に日々の活動を行っています。生活介護事業と就労継続支援B型事業を兼ね備えた多機能型事業所(所在地は八幡市八幡清水井30-3)です。



現在60名ほどの利用者さんが「どりー夢」「ぴーす」「はっぴー」「すまいる」「れい」の5グループ、また一般就労に近い施設外就労として「リサイクルセンター長谷山」で仕事や活動をされています。

作業所の活動時間は9時から16時(水曜日は15時)で、活動時間終了後に同法人の日中一時支援を利用することもできます。20代から70代の方がおられ、40代の方が1番多い年代だそうです。

作業所の利用者さんのほとんどは送迎ですが、約2割の利用者さんは自分で通っておられます。

午前中は作業、午後は活動に取り組んでいる班が多くあります。主な作業内容は、配食手作り弁当、刺し子ふきん、ガス警報器の解体作業、古紙回収、花づくり、箱折り、あられ作り等で、グループごとに分かれて取り組まれています。



配食手作り弁当を担当しているグループでは、たくさん並べられたお弁当箱の容器に食材がきれいに盛り付けられていて、とても美味しそうでした。お弁当は午前中に市役所等へ配送され、午後から空き容器を回収して洗浄する流れになっています。

刺し子ふきんは色とりどりの糸で一針一針丁寧に刺されていました。裁断から縫製、仕上げの洗濯とアイロン、袋詰めなど全て利用者さんたちが分担して行っておられました。カラフルな京野菜の刺し子ふきんは松花堂のお店で購入できるそうです。

ガス警報器の解体作業は作業所内の仕事で一番多く、みなさんがそれぞれのペースに合わせて黙々と作業をしておられました。

午後からの活動では、動画を観て楽しんだり、散歩や創作や調理、時には各グループで遠出や旅行といったレクリエーションもあるそうです。それぞれの個性を生かして、毎日を自分らしく、仕事だけでなくさまざまな活動に取り組んでおられる事業所さんだと思いました。



編集後記

今年度最初の「拓く」は、先生方に好きなものやハマっているものについて語っていただきました。お忙しい中、御協力いただきありがとうございます。アンケートから先生方の意外な一面を垣間見ることができたのではないのでしょうか。

今後もより充実した内容をお届けできるよう頑張ってまいります。